

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4306383号
(P4306383)

(45) 発行日 平成21年7月29日(2009.7.29)

(24) 登録日 平成21年5月15日(2009.5.15)

(51) Int.Cl.

F 1

B 6 5 D 5/486 (2006.01)

B 6 5 D 5/48

F

B 6 5 D 5/42 (2006.01)

B 6 5 D 5/42

C

B 6 5 D 5/50 (2006.01)

B 6 5 D 5/50

A

請求項の数 5 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2003-328878 (P2003-328878)
 (22) 出願日 平成15年9月19日(2003.9.19)
 (65) 公開番号 特開2005-88975 (P2005-88975A)
 (43) 公開日 平成17年4月7日(2005.4.7)
 審査請求日 平成18年9月19日(2006.9.19)

(73) 特許権者 000002897
 大日本印刷株式会社
 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 (74) 代理人 100111659
 弁理士 金山 聡
 (72) 発明者 山田 雄二
 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 大日本印刷株式会社内
 (72) 発明者 田中 雅人
 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 大日本印刷株式会社内

審査官 渡邊 真

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 易開封中仕切りカートン

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

側板、天板、側板、底板、糊代、連結板、仕切り板、貼着片をそれぞれ折れ線を介して順次連設し、前記天板の両側辺にはそれぞれ前板と後板を折れ線を介して連設し、前記底板の両側辺にはそれぞれ前下板と後下板を折れ線を介して連設したカートンブランクを組み立ててなるカートン内を仕切り板によって2分割し、前記天板に並行する天板破断線を設け、前記前板に前記天板破断線に連続して前板破断線を辺縁まで設け、該前板破断線および前記天板破断線を引き裂くことにより、前記天板および前記前板の一部をそれぞれ開閉部分として開口可能とした易開封中仕切りカートンであって、

前記貼着板の裏面を前記底板の裏面に貼り合わせ、前記連結板の一部に切り取り可能に貼着部を設け、該貼着部で前記連結板と前記天板を貼り合わせたことを特徴とする易開封中仕切りカートン。

10

【請求項 2】

並行して設けた前記前板破断線により前記前板の辺縁中央に摘み部を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の易開封中仕切りカートン。

【請求項 3】

前記前下板に前記摘み部を差し込む切り込みを設けたことを特徴とする請求項 2 に記載の易開封中仕切りカートン。

【請求項 4】

前記連結板の表面に印刷により絵柄、表示等の情報を記載したことを特徴とする請求項 1

20

乃至 3 のいずれかに記載の易開封中仕切りカートン。

【請求項 5】

前記連結板と前記仕切り板との折れ線をミシン目、リード罫、半切れ、半切れミシン目として、前記連結板を前記仕切り板から切り取り可能としたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の易開封中仕切りカートン。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、一つのカートンの中に二つの商品を分別して収納し、上側に開閉部分を設け内容物を取り出しやすくした易開封中仕切りカートンに関するものである。 10

【背景技術】

【0002】

従来より、菓子類や食品などの商品を収納し、商品を取り出す開閉部分を設け、取り出し易くした形状の易開封カートンが用いられており、代表的なものとして、図 6 - a に示すように、前板 19 から天板 12 に渡る開閉部分を設けた横置きタイプのものが知られている。この易開封カートン 2 は、前板 19 の一部からなる摘まり部 19a を引っ張り、一対の前板破断線 q、q と天板破断線 p、p を破断することにより、図 6 - b に示すように、前板開閉部分 Q および天板開閉部分 P を開けることで商品を取り出すようになっている。また、一旦開けた開閉部分 Q は、摘まり部 19a を前下板 21 の切り込み 21a に差し込んで閉じるようになっている。 20

【0003】

また、菓子類や食品などの商品を収納した中に他の商品を区別して収納するためのカートンとしては、仕切り板に連設された貼着板を後板の内面に貼着固定して、カートン内を仕切り板によって 2 分割した構成の中仕切りカートンが実用化されている（例えば、特許文献 1 参照。）。 30

【特許文献 1】実用新案登録第 2519372 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、従来の中仕切りカートンで、かつ、前板および天板を広く開封する所謂トップオープン型の開封機能を有する形状は提案されていなく、また、通常の中仕切りカートン 3 は、図 7 - a に示すように、貼着板 18 を巻き込むように貼着板 18 の表面を後板 14 の内面に貼着して固定している。そのため、易開封にしてカートンを開口できるようにしても、貼着板 18 の表面に情報を記載してカートンを開口した時にその貼着板 18 の表面に情報を記載した情報を見ることができない。また、貼着板 18 の表面に情報を記載して開口した時に見ることができないように、図 7 - b に示すように、貼着板 18 を巻き込まずに外側に折り曲げて貼着板 18 の裏面を後板 14 の裏面に貼着して固定した場合、折り畳まれた中仕切りカートン 4 を起こす時に、図 7 - c に示すように、中仕切りとなる連結板 16 と仕切り板 17 が起きにくいという問題がある。従って、従来の中仕切りカートンでは、収納された商品を取り出すことが容易ではなく、中に巻き込まれた連結板および貼着板の表面を利用して絵柄、表示等の印刷による情報を見ることができない形状であった。また、易開封中仕切りカートンにした場合でも、中に巻き込まれた貼着板の表面を利用して絵柄、表示等の印刷による情報を見ることができない形状であった。 40

【0005】

本発明は、上記の如き従来の中仕切りカートンに易開封性トップオープン機能を付与した形状のカートンを易開封中仕切りカートンであって、その目的とするところは、一つのカートンの中に二つの商品を分別して収納することができ、上側となる前板および天板を広く開口して収納した商品を容易に取り出すことができ、かつ、カートンの中に巻き込ん 50

だ連結板および貼着板を利用して絵柄、表示等の情報が記載できる領域を拡げることができる易開封中仕切りカートンを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明は、側板、天板、側板、底板、糊代、連結板、仕切り板、貼着片をそれぞれ折れ線を介して順次連設し、前記天板の両側辺にはそれぞれ前板と後板を折れ線を介して連設し、前記底板の両側辺にはそれぞれ前下板と後下板を折れ線を介して連設したカートンブランクを組み立ててなるカートン内を仕切り板によって2分割し、前記天板に並行する天板破断線を設け、前記前板に前記天板破断線に連続して前板破断線を辺縁まで設け、該前板破断線および前記天板破断線を引き裂くことにより、前記天板および前記前板の一部をそれぞれ開閉部分として開口可能とした易開封中仕切りカートンであって、前記貼着板の裏面を前記底板の裏面に貼り合わせ、前記連結板の一部に切り取り可能に貼着部を設け、該貼着部で前記連結板と前記天板を貼り合わせたことを特徴とする易開封中仕切りカートンである。そして、並行して設けた前記前板破断線により前記前板の辺縁中央に摘まみ部を設け、前記前下板に前記摘まみ部を差し込む切り込みを設けたことを特徴としている。

10

【0007】

また、前記連結板の表面に印刷により絵柄、表示等の情報を記載したことを特徴とし、そして、前記連結板と前記仕切り板との折れ線をミシン目、リード罫、半切れ、半切れミシン目として、前記連結板を前記仕切り板から切り取り可能としたことを特徴としている。

20

【発明の効果】

【0008】

本発明の易開封中仕切りカートンは、カートンの中に一つの商品を収納した中に他の商品を区別して収納することができるものであり、すなわち、別部材としての中仕切りを一切不要とし中仕切りをカートンと一体としていることを特徴とし、1枚のブランクを組み立てることにより形成することが可能であり、その製造工程における作業性を著しく向上させることが出来るという効果を有している。

【0009】

また、仕切り板に連設された貼着板が箱の内面に貼着されているので、仕切り板を強固に安定させることが出来ることによって、中仕切りの中に収納する商品を安全に保護することが出来るという効果を有している。

30

【0010】

また、前板の辺縁中央に設けた摘まみ部を摘まみ、前板の前板破断線を引き裂いて前板の開閉部分を開封し始め、引き続いて天板の天板破断線を引き裂いて天板の開閉部分を開口することができ、収納された商品を簡単に取り出すことができる。この状態で、連結板に印刷された絵柄、表示等の情報を見ることが出来るという効果を有している。

【0011】

さらに、収納された商品を簡単に取り出した後、貼着板に印刷された絵柄、表示等の情報を見ることが出来るという効果も有しており、連結板を仕切り板から切り離すことにより、中仕切りの中に収納された商品を取り出すことができる。

40

【0012】

すなわち、連結板および貼着板の表面を利用して絵柄、表示等の印刷を施すことにより情報を記載できる領域を広げることが出来るという効果を有している。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0014】

図1は、本発明の易開封中仕切りカートンの一実施例を示す斜視図である。、易開封中仕切りカートン1は、前板19、天板12、後板20、底板14、両側板11、13から

50

なる直方体のカートンであり、天板 12 には、一対の並行する天板破断線 p、p が設けられ、前板 19 には、天板破断線 p、p に連続して一対の前板破断線 q、q が辺縁まで設けられ、該前板破断線 q、q および天板破断線 p、p を引き裂くことにより、前板 19 の一部の前板開閉部分 Q および天板 12 の一部の天板開閉部分 P を開口可能としている。また、前板 19 の中央辺縁は、前板開閉部分 Q が開封しやすいように前板破断線 q、q 間の幅を狭くして摘み部 19a としている。

【0015】

図 2 - a は、図 1 の易開封中仕切りカートン 1 の開閉部分を開けた状態を示す斜視図であり、前板 19 の摘み部 19a を摘んで開封し、前板 19 の前板開閉部分 Q および天板 12 の天板開閉部分 P を開口した状態を示している。この天板開閉部分 P を開口すると同時に、連結板 16 の天板 12 と部分的に貼り合わせている貼着部 16a が切り取られる。この開口した状態で、連結板 16 に施されている絵柄、表示等の情報を見ることができる。そして、仕切り板 17 と底板 14 の一部と側板 13 とで囲まれた A 室に収納されている商品を取り出すことができる。この状態で、貼着部 18 に施されている絵柄、表示等の情報を見ることができる。さらに、図 2 - b に示すように、連結板 16 を仕切り板 17 から切り離すことにより、連結板 16 と仕切り板 17 と底板 14 の一部と糊代 15 とで囲まれた B 室から他の商品を取り出すことができ、開口された易開封中仕切りカートン 1 の中は、仕切り板 17 により、A 室と B 室とに 2 分割される。そして、再封できるように、前板 19 の摘み部 19a を差し込む切り込み 21a を前下板 21 に設けている。

【0016】

図 3 は、図 1 の易開封中仕切りカートン 1 を組み立てるブランクを示す展開図であり、ブランク 10 では、横方向の折れ線 a、b、c、d、e、f を介して側板 11、天板 12、側板 13、底板 14、側板 15、連結板 16、仕切り板 17、貼着部 18 が連設され、天板 12 の左右の辺には折れ線 h、i を介してそれぞれ前板 19 と後板 20 が連設され、底板 14 の左右の辺には折れ線 j、k を介してそれぞれ前下板 21 と後下板 22 が連設され、そして、側板 11 の左右の辺には折れ線 l、m を介してそれぞれ折り込み片 23、24 が連設され、側板 13 の左右の辺には折れ線 n、o を介してそれぞれ折り込み片 25、26 が連設されている。連結板 16 には、天板 12 と部分的に貼り合わせる貼着部 16a を切り取り線により設けている。この貼着部 16a は、天板開閉部分 P を開口する時に切り取られる部分である。また、折れ線 f は、連結板 16 が仕切り板 17 から切り取りやすいように、ミシン目、リード罫、半切れ、半切れミシン目等としている。さらに、折れ線 e は、連結板 16 が糊代 15 から切り取りやすいように、ミシン目、リード罫、半切れ、半切れミシン目等とすることが好ましい。このようにすることによって、連結板 16 を易開封中仕切りカートン 1 から切り離すことができる。

【0017】

また、天板 12 には、横方向に一対の天板破断線 p、p を設けられている。この一対の天板破断線 p、p により囲まれる領域は天板開閉部分 P となり、天板 12 の一対の天板破断線 p、p が破断され開口される。この一対の天板破断線 p、p は必ずしも平行である必要はなく、傾斜した線であってもよい。また、天板破断線 p は直線ではなく、曲線であってもよい。従って、天板開閉部分 P の形状は、四辺形、台形が基本であるが、種々の形状とすることができる。この一対の天板破断線 p、p は、破断しやすいように、Y 字状切れ目、L 字状切れ目、ミシン目などで設けることが好ましい。

【0018】

また、前板 19 には、天板 19 の天板破断線 p、p に連続して一対の前板破断線 q、q が設けられている。この一対の前板破断線 q、q により囲まれる領域は前板開閉部分 Q となり、前板 19 の一対の前板破断線 q、q が破断され開封される。また、この前板破断線 q、q は前板 19 の辺縁では指で摘みやすいように、間隔を狭くし摘み部 19a としている。この摘み部 19a を摘み、前板破断線 q、q を切り裂くことから開封を始めることができる。さらに、前下板 21 には、摘み部 19a に対応する位置に、前板 19 の差し込み片 19a を差し込むための切り込み 21a が設けられている。

【 0 0 1 9 】

上記のブランク 1 0 から易開封中仕切りカートン 1 を組み立てて商品を受納するには、まず、連結板 1 6 を折れ線 e で糊代板 1 5 側に折り返し、貼着板 1 8 の裏面を底板 1 4 の裏面に貼り合わせる。つぎに、その貼着板 1 8 を貼り合わせた底板 1 4 を折れ線 c で側板 1 3 側に折り返し、そして、側板 1 1 を折れ線 a で天板 1 2 側に折り返し、糊代板 1 5 と側板 1 1 を貼り合わせる。この時、連結板 1 6 を天板 1 2 に貼り合わせるが、この貼り合わせは、連結板 1 6 の貼着部 1 6 a で天板 1 2 と貼り合わせる。ついで、側板 1 1 を折れ線 a で天板 1 2 側に折り曲げて、糊代板 1 5 と側板 1 1 とを貼り合わせて、図 4 - a に示すように、折り畳んだ状態の易開封中仕切りカートン 1 とすることができる。

【 0 0 2 0 】

つぎに、このサック貼りして折り畳んだ状態の易開封中仕切りカートン 1 を、図 4 - b に示すように、実際に内容物を充填する工程で角筒状に起こす。この時、連結板 1 6 の一部が天板 1 2 に貼り合わされていることによって、連結板 1 6 と仕切り板 1 7 の折れ線 f が折り曲げ易く、折り畳まれた易開封中仕切りカートン 1 が起きやすくなっている。さらに、両方の折り込み片 2 4、2 6 を内側に折り曲げてから、後下板 2 2、後板 2 0 の順にそれぞれ内側に折り曲げて互いに接着することにより、図 4 - c に示すように、一方の側を閉鎖する。この状態で他方の側面開口から内容物を充填する。このように内容物を収納した後、図 4 - d に示すように、両方の折り込み片 2 3、2 5 を内側に折り曲げてから、前下板 2 1、前板 1 9 の順にそれぞれ内側に折り曲げて互いに接着することにより他方の側を閉鎖する。これにより図 1 に示す易開封中仕切りカートン 1 が作成される。

【 0 0 2 1 】

図 1 の易開封中仕切りカートン 1 を開封するには、従来の易開封カートンと同様、図 5 - a に示すように、前板 1 9 の摘み部 1 9 a を摘んで引っ張り上げ、そして、摘み部 1 9 a の横への前板破断線 q、q を引き裂いて前板開閉部分 Q を開封しはじめる。引き続いて前板 1 9 の前板開閉部分 Q を開封した後に、図 5 - b に示すように、天板 1 2 の天板開閉部分 P を両側の天板破断線 p、p に沿って引き裂くことにより、図 2 に示すように、前板開閉部分 Q と天板開閉部分 P が開口された状態とする。この時、天板 1 2 に貼り合わされている連結板 1 6 の一部である貼着部 1 6 a が切り取られる。この状態で A 室に収納されている商品を取り出すことができ、同時に、連結板 1 6 に印刷されている絵柄、表示等の情報を見ることができる。また、A 室に収納されている商品を取り出すことにより、貼着板 1 8 の表面に印刷されている絵柄、表示等の情報を見ることができる。さらに、連結板 1 6 を仕切り板 1 7 から切り離すことにより、B 室が表出し B 室に収納された商品を取り出すことができる。

【 0 0 2 2 】

また、一旦開けた部分を再封する際には、摘み部 1 9 a を、前下板 2 1 に設けられている切り込み 2 1 a に差し込んで係止することができる。

【 0 0 2 3 】

本実施例は再封の方法に関する一つの例を示したに過ぎず、この形状に限定されるものではない。

【 実施例 】

【 0 0 2 4 】

以下、本発明による包装体の実施例について説明する。

【 0 0 2 5 】

〔 実施例 1 〕

まず、坪量 310 g/m^2 の板紙（商品名：ウルトラ H（大昭和製紙株式会社製））の表面に絵柄、文字などの印刷を、オフセット印刷で施した。印刷の表面には、つや出しの表面加工も行った。この多面付けで印刷および表面加工を行った枚葉状の板紙から図 3 に示すような所定の形のブランクに打ち抜いた。

【 0 0 2 6 】

上記のブランク 1 0 において、まず、連結板 1 6 を折れ線 e で糊代板 1 5 側に折り返し

、貼着板 18 の裏面を底板 14 の裏面に貼り合わせた。つぎに、その貼着板 18 を貼り合わせた底板 14 を折れ線 c で側板 13 側に折り返し、そして、側板 11 を折れ線 a で天板 12 側に折り返し、糊代板 15 と側板 11 を貼り合わせた。この時、連結板 16 の貼着部 16a で天板 12 と貼り合わせた。ついで、側板 11 を折れ線 a で天板 12 側に折り曲げて、糊代板 15 と側板 11 とを貼り合わせて、図 4 - a に示すように、折り畳んだ状態の易開封中仕切りカートン 1 とした。

【0027】

つぎに、このサック貼りして折り畳んだ状態の易開封中仕切りカートン 1 を、図 4 - b に示すように、実際に内容物を充填する工程で角筒状に起こした。この時、連結板 16 の一部の貼着部 16a が天板 12 に貼り合わされていることによって、連結板 16 と仕切り板 17 の折れ線 f が折り曲げ易く、折り畳まれた易開封中仕切りカートン 1 を容易に起こすことができた。さらに、両方の折り込み片 24、26 を内側に折り曲げてから、後下板 22、後板 20 の順にそれぞれ内側に折り曲げて互いに接着することにより、一方の側を閉鎖し、他方の側面開口から内容物を充填した後、両方の折り込み片 23、25 を内側に折り曲げてから、前下板 21、前板 19 の順にそれぞれ内側に折り曲げて互いに接着することにより他方の側を閉鎖し図 1 に示すような易開封中仕切りカートン 1 を作成した。

【0028】

この易開封中仕切りカートン 1 を、図 5 - a に示すように、前板 19 の摘み部 19a を摘んで引っ張り上げ、そして、摘み部 19a の横への前板破断線 q、q を引き裂いて前板開閉部分 Q を開封しはじめ、引き続いて前板 19 の前板開閉部分 Q を開封した後に、図 5 - b に示すように、天板 12 の天板開封部分 P を両側の天板破断線 p、p に沿って引き裂くことにより、図 2 に示すように、前板開閉部分 Q と天板開封部分 P が開口された状態とすることができた。この時、天板 12 に貼り合わされている連結板 16 の一部である貼着部 16a が切り取られた。この状態で A 室に収納されている商品を取り出すことができ、同時に、連結板 16 に印刷されている絵柄、表示等の情報を見ることができた。また、A 室に収納されている商品を取り出すことにより、貼着板 18 の表面に印刷されている絵柄、表示等の情報を見ることができ、さらに、連結板 16 を仕切り板 17 から切り離すことにより、B 室が表出し B 室に収納された商品を取り出すことができた。また、一旦開けた部分を再封する際には、前下板 21 に設けられている切り込み 21a に摘み部 19a を差し込んで係止することができた。

【図面の簡単な説明】

【0029】

【図 1】本発明の易開封中仕切りカートンの一実施例を示す斜視図である。

【図 2】図 1 の易開封中仕切りカートンの開閉部分を開けた状態を示す斜視図である。

【図 3】図 1 の易開封中仕切りカートンを形成するブランクを示す展開図である。

【図 4】図 3 のブランクから本発明の易開封中仕切りカートンを組み立てる工程を説明する図である。

【図 5】本発明の易開封中仕切りカートンの開封を説明する図である。

【図 6】従来の易開封カートンの一例を示す斜視図である。

【図 7】従来の中仕切りカートンの一例を示す概略断面である。

【符号の説明】

【0030】

- 1 易開封中仕切りカートン
- 2 従来の易開封カートン
- 3 従来の中仕切りカートン
- 4 従来の中仕切りカートン
- 10 ブランク
- 11 側板
- 12 天板
- 13 側板

10

20

30

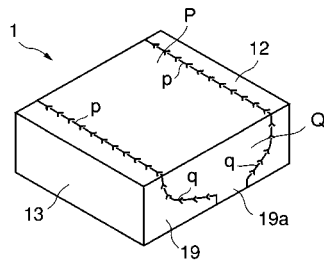
40

50

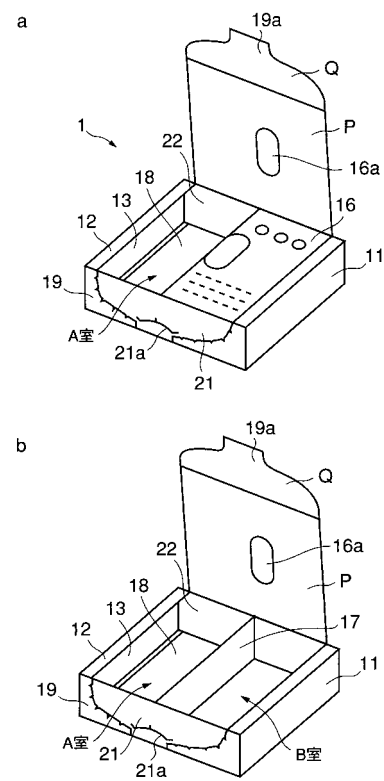
- | | |
|-------|--------|
| 1 4 | 底板 |
| 1 5 | 糊代 |
| 1 6 | 連結板 |
| 1 6 a | 貼着部 |
| 1 7 | 仕切り板 |
| 1 8 | 貼着板 |
| 1 9 | 前板 |
| 1 9 a | 摘まみ部 |
| 2 0 | 後板 |
| 2 1 | 前下板 |
| 2 1 a | 切り込み |
| 2 2 | 後下板 |
| 2 3 | 折り込み片 |
| p | 天板破断線 |
| q | 前板破断線 |
| P | 天面開閉部分 |
| Q | 前板開閉部分 |
| a ~ k | 折れ線 |

10

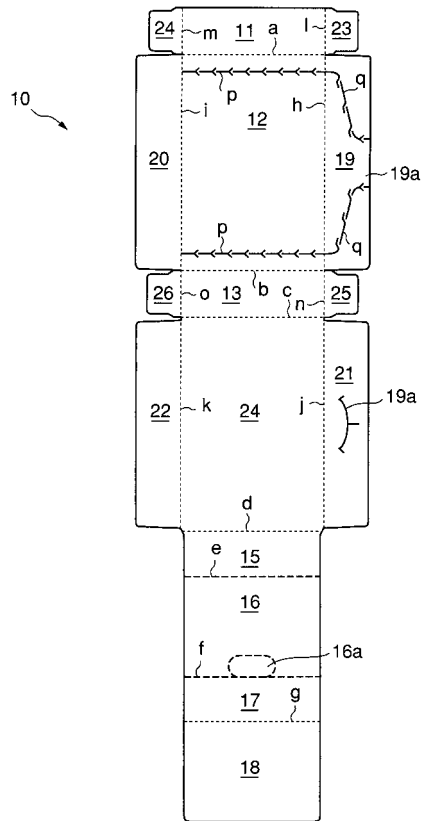
【 図 1 】



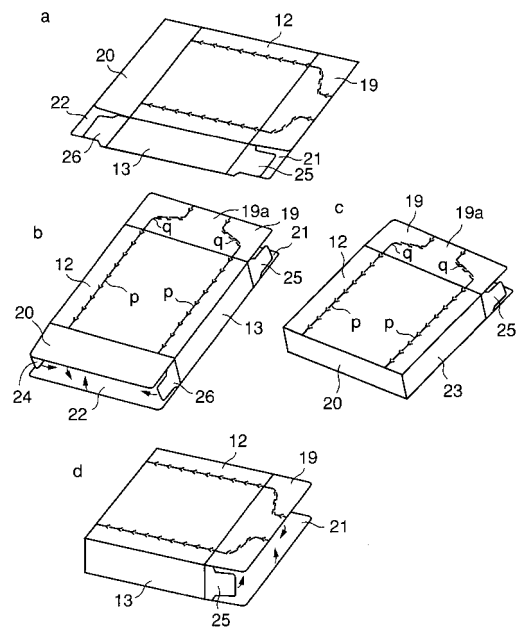
【 図 2 】



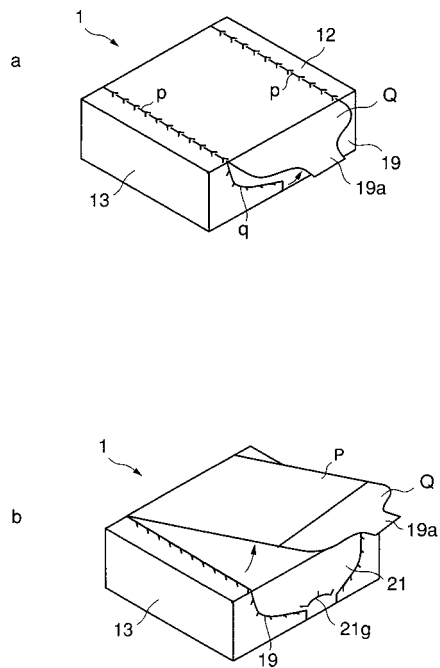
【図 3】



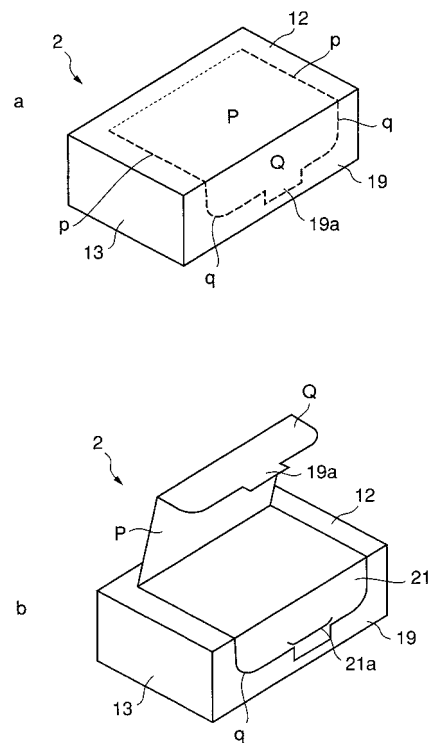
【図 4】



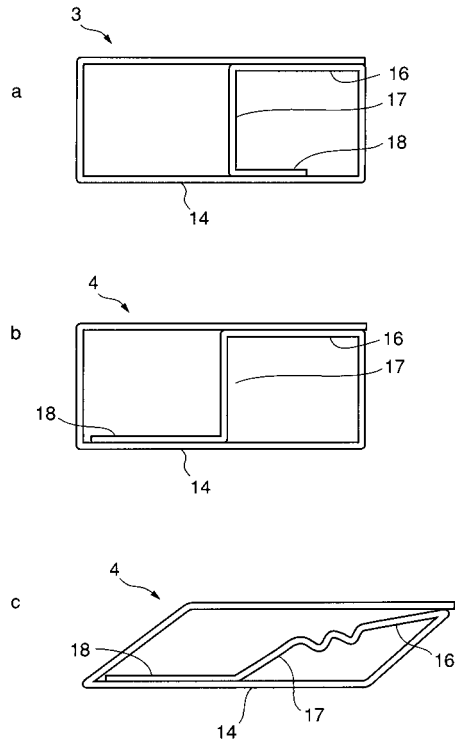
【図 5】



【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

(56)参考文献 実開昭59-000725(JP,U)
実開昭62-168317(JP,U)
実開昭63-111422(JP,U)
特開2002-225847(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B65D 5/486
B65D 5/42
B65D 5/50